



いくたりよくち やと 生田緑地の谷戸

ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、クロマドボタル、オバボタルは陸生ボタルです。

スジグロボタル

スジグロボタル(右)は半水生といわれ、滴り流れる湧水に浸かった場所に生息しており、神奈川県準絶滅危惧種です。生田緑地を特徴づける生物です。



水辺の生物

生田緑地の谷戸の水辺には、その他にも、きれいな水域や湿地の好きな生物がたくさん生息しています。春には、シオヤトンボ(県要注意種)が現れ、夏にはオニヤンマが、秋にはマユタテアカネ(県要注意種)が見られます。両生類ではアズマヒキガエル(県要注意種)やシュレーゲルアオガエル(県要注意種)、魚類ではホトケドジョウ(国・県絶滅危惧B類)、爬虫類ではシマヘビ、ヒバカリ(県準絶滅危惧種)、アオダイショウもいます。



左 ヤマサナエ、上 オニヤンマ

いくたりよくち しぜん たいせつ 生田緑地の自然を大切に

生田緑地には、かつて多摩丘陵の谷戸に普通に見られた生き物の多くが辛うじて生き残っています。これらの生物と湧水の流れる水辺を有する谷戸は川崎の宝です。皆さんの力で、この生田緑地の自然を次の世代に引き継いでいきましょう。

ホタル観察会

日時 6月9日(土)、16日(土) 18~19時
会場 生田緑地ビジターセンター 2階

いくたりよくち <に> あんないす 生田緑地ホタルの国への案内図



ホタルの国の入口は2ヶ所だけです!

しぜんちようさだん 特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

電話 090(2171)7214
E-mail: hotaru@konrac.org
http://npo.konrac.org/hotaru.html

いくたりよくちせいびじむしょ 生田緑地整備事務所
電話 044(933)2063



いくたりよくち <に> 生田緑地ホタルの国 からの招待状

きかん 期間: 2018年6月8日(金)~24日(日)
じかん 時間: 19:00~21:00

生田緑地【ホタルの国】は地名ではありません。限られた時間だけ、生田緑地に出現する仮想の国です。そこで皆さんは生田緑地のゲンジボタルの光の舞に出会うことができます。私たちは昔から生田緑地に棲んでいるゲンジボタルです。近年の川崎は明るくて、私たちは生活しにくくなっています。それでも皆さんが水辺を大切に保全して、暗がりを残してくれば何とか生活していけるとおもいます。どうぞ、私たちが生きていけるように優しく見守って下さい。

【ホタルの国】は私たちが大人になって飛翔発光する景色を見られる会場です。どうぞ皆さんで観賞しに来て下さい。

いくたりよくち いちどう 生田緑地のゲンジボタル一同

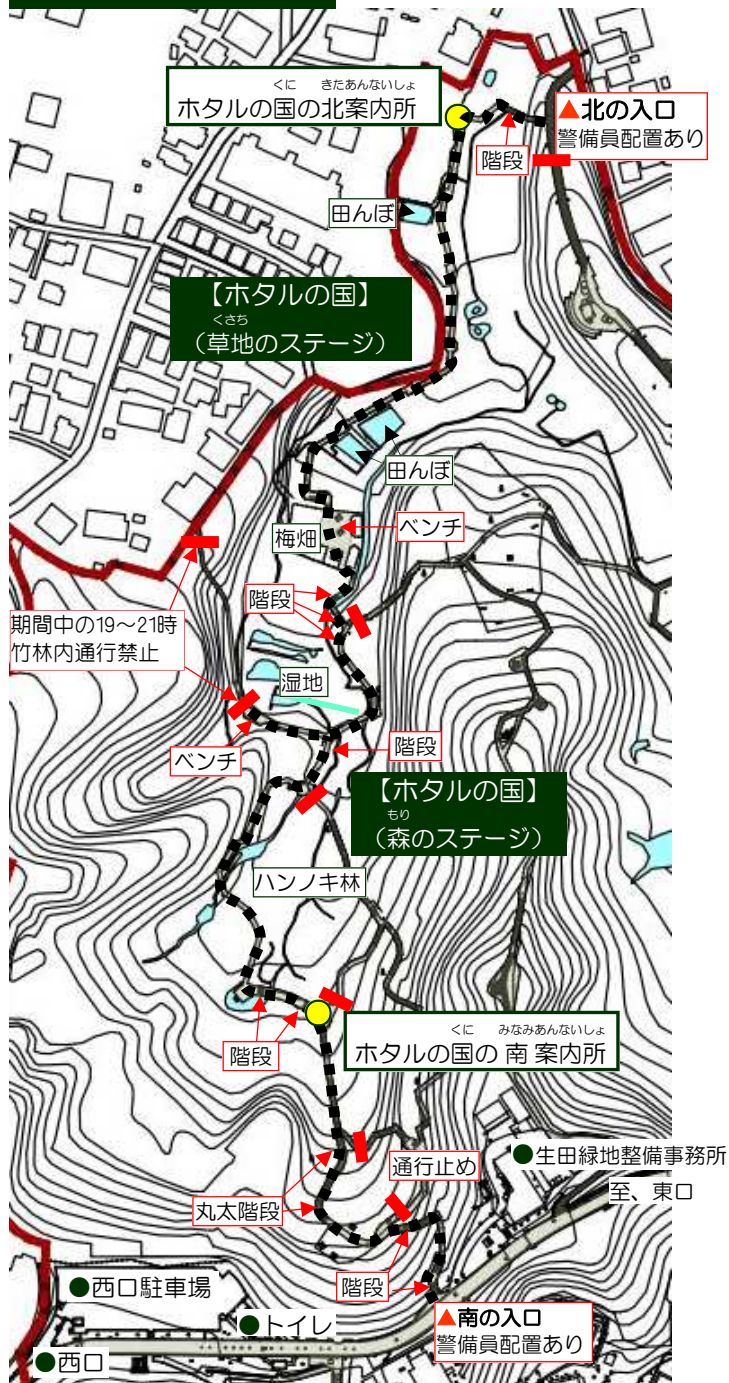


くに ホタルの国へようこそ

ホタル国では次のことを守って下さいね。

- 懐中電灯などを点灯しないで下さい。
私たちホタルは、お互いの光を頼りに交尾をする相手を探しています。相手を見つけれないと子どもをつくることができません。私たちの命は1週間程度です。どうぞそっとしておいて下さい。勿論、カメラのフラッシュや携帯電話も明るいので使わないで下さい。
- 私たちを叩いたり捕まえたりしないで下さい。
私たちを生田緑地の自然の中で観賞して下さい。私たちはハンノキ林から続く谷戸の水辺が大好きです。
- 光の明滅を静かに鑑賞して下さい。
私たちは光の明滅で会話をしています。私たちがどんな会話をしているか、そっと観察してみてください。自然の小さな音にも耳を傾けてみましょう。私たちの小さな光を神秘的に感じることができますよ。
- スマホ、携帯電話等の電源は切ってください。
- 木道の左側を一列になって通行してください。
- 犬などペットを連れて入国しないで下さい。
- 喫煙、写真撮影をしないで下さい。
- 蚊とり線香などを使用しないで下さい。
- 生物の保護のため木道から降りないで下さい。
- 生田緑地では動植物の採集は禁じられています。

ホタルの国マップ



※ホタルの国の中には、トイレがありません！

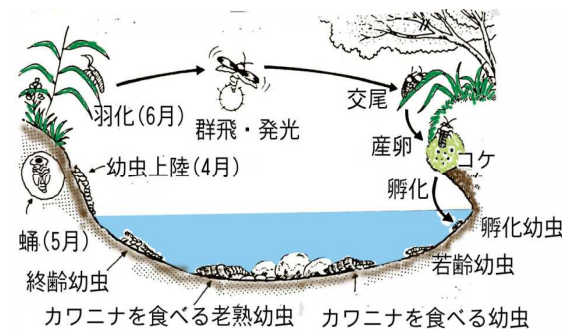


いくたりよくち 生田緑地のホタル

いくたりよくち 生田緑地には ゲンジボタル、ハイケボタル、スジグロボタル、ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、クロマドボタル、オバボタルの7種のホタルの生息記録があります。

でも、ハイケボタルは今では見られなくなりましたので、水生のホタルはゲンジボタルだけです。

ゲンジボタル



- 水流で成長した幼虫は4月に上陸して土中にもぐり蛹になります。
- 生田緑地の谷戸に成虫が出現するのは夏至の前後1週間程度といわれています。
- 成虫は12~18mmの大きさです。
- 点滅のしかたは東日本型が4秒、西日本型が2秒といわれています。皆さんも調べてみましょう。
- オスは飛びながら発光し、メスは草や葉の上で発光します。点滅のしかたがどの様に異なるか観察してみましょう。
- 産卵は水際のコケなどにします。卵は1ヶ月弱で孵化し、水域での生活が始まります。